

自然教室だより

4月・春の奈良公園 自然観察会 報告

辻本 信一

平成30年4月3日(火)、昨年と同じこの時期、奈良公園にて桜見物を主とした自然観察会を実施。13名の方に参加していただきました。



【朝の集合】



【ナラノココノエザクラ】

今年、ソメイヨシノの奈良での開花宣言は、例年より10日近く早くなり、昨年と比べ2週間近くも開花が早まりました。おかげで、エドヒガン、コヒガン、シダレザクラ、オオシマザクラ、ヤマザクラ、ナラノココノエザクラと、奈良公園の代表的な桜を同時に観察することができ、参加者一同大満足の観察会となりました。



【エドヒガン】



【オオシマザクラ】

浮御堂のある鷺池北側ではハクモクレン、コブシ、シデコブシのモクレン科3種揃い踏み。イヌシデ、イロハモミジ、トウカエデもこの時期かわいい小ぶりの花をいっぱい咲かせ、私たちの目を引きまします。足元を見れば、シハイスミレ、キランソウ、ハナイバナ、ヒメウズ、ノミノフスマの極端なまでに矮小化した野草の花の競演。

春日野園地周辺ではナラノココノエザクラ、東側で紅豊、白妙、八重紅枝垂れの里桜が満開の時を迎え、私たちの目を喜ばせてくれました。そんな中、出会いを楽しみにしていた春日野園地東側高台のコナラの大きな木が伐採され切り株だけになっているのを発見。悲しい気持ちをこらえ、全員がその切り株の上に立ちコナラがこれまで見続けてきた景色をみんなで遠望しコナラへの思いを

馳せました。その後みんなで数えた年輪の数は130を超えておりました。



【コナラの切り株の上で】



【年輪の数えっこ】

最後に昨年は見られなかった満開の東大寺北側の「おかつぱ桜」の前で「ハイポーズ」、記念の写真を撮り、楽しかった観察会を終了しました。



3月・帝塚山小学校アフタースクール 大淵池 自然観察会 実施報告

山本 (美)・桜木

3月20日(火)朝から小雨まじりの天気のもと、大淵池公園にて子ども8名・先方スタッフ3名を対象に傘をさしての実施となりました。

まず、モチツツジの生垣に隠してある人工物(人形・装飾品)を見つけるゲーム。子どもたちは夢中になり全てを探し当ててくれました。次は、立木の木肌やコブなどに紙の目玉を二つ配置し顔を作るゲーム。個性的な顔に一同拍手喝采。

その後は、雨あしが強くなり、スクールに移動。自然工作でそれぞれかわいいクマのペンダントが仕上がりました。



【雨でも楽しく】

5月・新緑のならやま 自然観察会 予告

次回観察会は、5月14日(月)、場所を再度「ならやま」に戻し、新緑のならやまの自然をみんなで楽しみます。集合時間は午前10時。弁当・飲み物持参で「ならやまベースキャンプ」にお集まりください。自然の不思議、魅力いっぱいの観察会をみんなで楽しみましょう！